

宮前区車座 意見・提案内容 (H28.4.18)

No	当日お話しされる意見・提案内容
1	<p>『子育てと仕事復帰』</p> <p>川崎市待機児童ゼロがニュースになりましたが、実際は子供が無事産まれるか不安な妊娠期からあちこち見学に行き、認可外でもいいからゼロ歳で預け始めないと保育の安心は確保できません。会社制度が整っても安心した保育がなければ復帰もキャリアも諦めざるを得ません。保育の在り方、どうお考えですか。更に何度も急坂上の区役所へ足を運ぶのがとても大変です。妊婦の時もベビーカーでもとても辛いです。他窓口を作ってください。</p>
2	<p>『保育の民営化』</p> <p>現在、保育園がどんどん民営化されています。これ可笑しくないですか？子供は親が育てるのは当たり前、その環境を整えるのは国の仕事だと思います。民営化するという事は利益を上げなければなりません、運営の都合で保育の仕方に影響もあるだろうし、当然事故も予想されます。今、国が子育て支援などと小手先で遣っていることは役に立っていません。子供の将来を考えるなら民営化ではなく、保育者をしっかり教育し、環境を整えて、子供が安心して生きられる場所を作る事だと思います。子供は「物」では有りません。余談ですが議員に成るとオムツやミルクを税金で買って許される様ですが？これ不公平じゃ有りませんか！納得がいきません。日本死ね！！と言われても仕方無いでしょう。</p>
3	<p>『障害者差別解消法に関する川崎市の一層の取り組み』</p> <p>4月から障害者差別解消法が施行されます。川崎市として、どのような取り組みをされるか、お尋ねします。また「努力義務」である事業者への啓発活動など、一層の取り組みをお願いしたいところです。今後の取り組み方針について、教えてください。</p>
4	<p>『川崎市民成年後見人の養成及び起用について』</p> <p>私は世田谷区民成年後見人を担当していました。又、東京大学成年後見人養成講座(二期生)終了生として活躍していました。</p> <p>10年位前から健康福祉局担当者に本件について意見の交換並びに同後見人の養成講座の開催を要望してきました。認知症対象者が飛躍的に増加する今日、本人の権利擁護を担当する「市民成年後見人」の起用は急務です。専門職だけではとても対応できない現状を指摘致したい。</p>
5	<p>『川崎市が進める、地域包括ケアシステム推進ビジョンに対する不安と期待』</p> <p>川崎市がすすめる「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に不安を感じる。子ども・若者・高齢者など核問題への課題が山積みしているところをまとめてしまうと、声の大きいところへの対応が中心になってしまわないか？絶対的少数者やより多くの困難を抱え日々を過ごすのに精一杯である者たちはますます置き去りにされるのではないかと感じる。また、立場の違う者同士の対立を生みはしないか？包括と排除は紙一重の部分があるのではないか。それぞれが理解し合い、良い方向へこのビジョンが流れていくように、行政のファシリテート力に期待したい。</p>

No	当日お話しされる意見・提案内容
6	<p>『地域の交通の便について』 私の住む処は、バス停から30分、坂を上らなければなりません。五所塚近辺の人々が10年がかりで立ち上げたコミュニティバスがありますが、月300人の乗車がないと廃止になってしまいます。私の家の前の道路をまたぐと長尾と宮前に分かれま す。今は長尾中心にバスが走っていますが、長尾小学校の前や東名横の道を通れば たくさんの人達が乗車できます。幼稚園のバスは毎日通行していますが、道路が狭 いという理由で許可がありません。何とか老人の多くなった近所の人々の便を考え ていただきたいと思ひます。</p>
7	<p>『安心安全な生活道路に改修要望』 五所塚1丁目から多摩区長尾へ抜ける生活道路が未だ安心安全な道路に改修されてな い。住民の声を聞かずに管理協定を結んだ後、道路に再生碎石を敷いた為、今まで よりも歩きづらくなり市職員にも現地を確認して頂く。車座集会での建設的な住民 意見を前向きに取り組んで欲しい</p>
8	<p>『人口150万人の政令指定都市にふさわしい私道舗装助成金支給制度の有効活用』 川崎市の財政はかなり厳しい状況のようではありますが、市民が日常生活で通行する 私道であれば、政令指定都市にふさわしい舗装道の充実をお願いしたいです。</p>
9	<p>『行政と自治会町内会とが連携した市民コミュニケーションの場としての公園の利活用』 2014年度宮前区で開催された地域課題解決イベントで公園へ行こうチームとして参 加しました。横浜市での公園拡張整備計画に伴う横浜市公園緑地整備課と公園周辺 の自治会町内会とが連携した、人と人の顔が見えるコミュニティ作りをメイン・ テーマとした今後の取り組計画の、地域でできることは地域住民で行う、身近にで きることから積極的に取組む、次世代の人のためにも自治会のIT化に取り組む等の 具体案の紹介です。</p>
10	<p>『団地の荷物だけで人のいない空き部屋』 私は団地の会長です。何年も前から荷物だけで人がいない。ひどい人は10～15 年です。何回か本庁にも行き相談しましたが、未だそのままです。一日も早く解決 していただきたいと思ひます。</p>